

## リクルートワークス大卒求人倍率調査

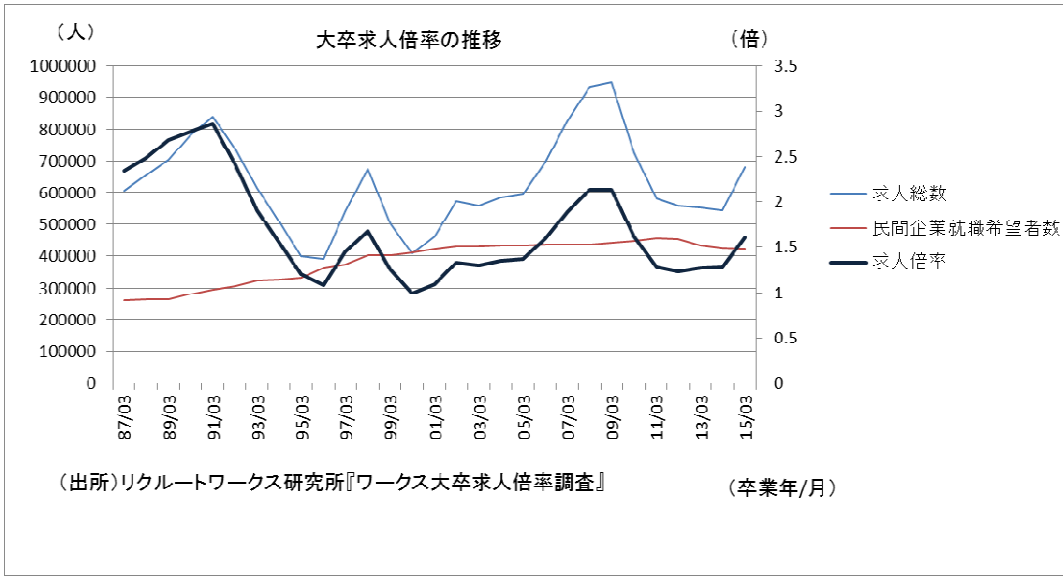
### (1) 求人総数、民間就職希望者数、求人倍率

データを下記の表のように整理する。

年度が一行に並んだデータにする。

形式を選択貼り付け→行列の入れ替え

	求人総数	民間企業前	求人倍率
1987年3月	608000	259500	2.34
1988年3月	655700	264600	2.48
1989年3月	704100	262800	2.68
1990年3月	779200	281000	2.77
1991年3月	840400	293800	2.86
1992年3月	738100	306200	2.41
1993年3月	617000	323200	1.91
1994年3月	507200	326500	1.55
1995年3月	400400	332800	1.2
1996年3月	390700	362200	1.08
1997年3月	541500	373800	1.45
1998年3月	675200	403000	1.68
1999年3月	502400	403500	1.25
2000年3月	407800	412300	0.99
2001年3月	461600	422000	1.09
2002年3月	573400	430200	1.33
2003年3月	560100	430800	1.3
2004年3月	583600	433700	1.35
2005年3月	596900	435100	1.37
2006年3月	698800	436300	1.6
2007年3月	825000	436900	1.89
2008年3月	932600	436500	2.14
2009年3月	948000	443100	2.14
2010年3月	725300	447000	1.62
2011年3月	581900	455700	1.28
2012年3月	559700	454900	1.23
2013年3月	553800	434500	1.27
2014年3月	543500	425700	1.28
2015年3月	682500	423200	1.61



## (2) 業種別有効求人倍率

エクセルの表の一番下の<業種別>を使用

建設業、製造業が別々のデータになった 2010 年卒以降のデータにする。(それ以前は削除)

有効求人倍率のデータだけ使用する。他は削除。

結合しているセルは解除する。(セルの書式設定→配置→「セルを結合する」のチェックをはずす)

業種名と有効求人倍率の行が並ぶように、「セルの挿入→下へずらす」を活用する。

<業種別>							
	2010年 3月卒	2011年 3月卒	2012年 3月卒	2013年 3月卒	2014年 3月卒	2015年 3月卒	2016年 3月卒
建設業	4.14	5.04	4.95	5.32	4.77	5.61	6.18
製造業	1.66	1.35	1.27	1.37	1.31	1.59	1.73
流通業	4.66	4.17	3.94	3.73	4.76	5.49	5.65
金融業	0.21	0.20	0.19	0.19	0.18	0.22	0.23
サービス・ 情報業	0.67	0.48	0.47	0.42	0.41	0.54	0.56
【求人倍率の定義】 求人倍率=求人総数/民間企業就職希望者数							

挿入→グラフ→縦棒グラフ  
行列の入れ替え

